

# Tikz サンプル

宮根一樹

2023 年 8 月 11 日

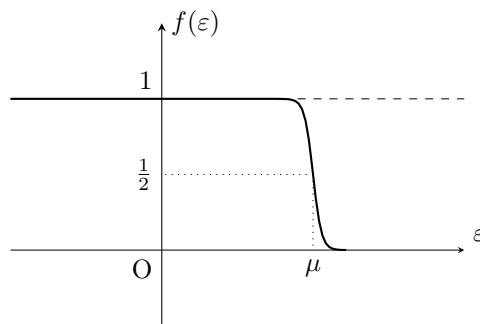


図0.1  $f(\varepsilon)$ の概略図

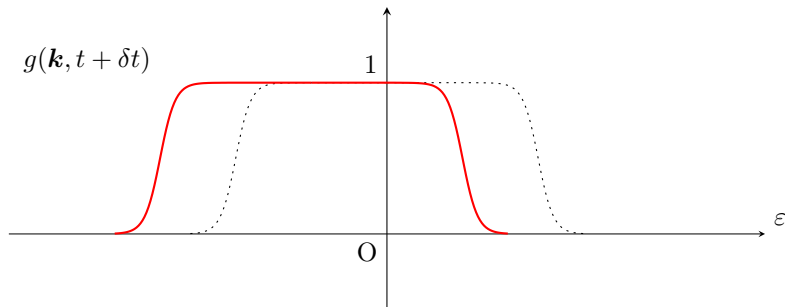


図0.2  $g(\mathbf{k}, t + \delta t)$ と $g^0(\mathbf{k}, t)$ の概略図

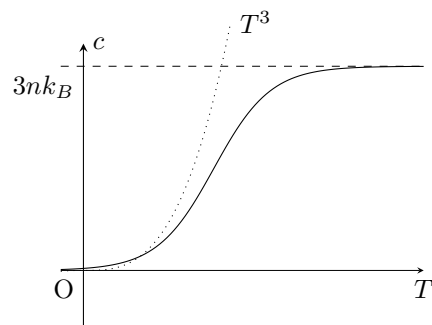


図0.3 比熱 $c$ の概略図

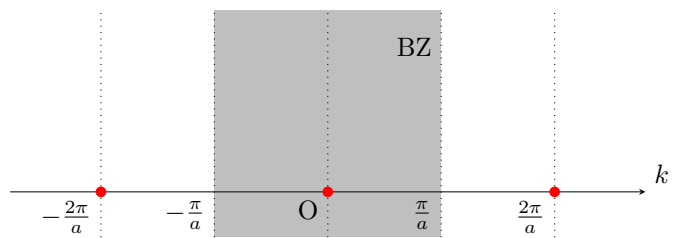


図0.4 逆格子と第1ブリルアンゾーン

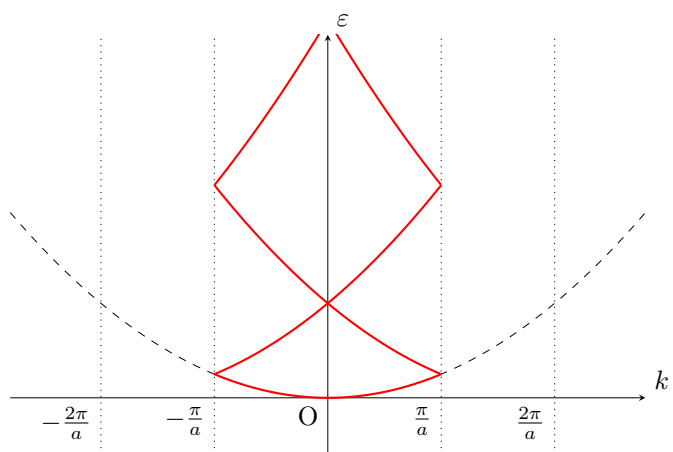


図0.5 自由粒子の分散関係

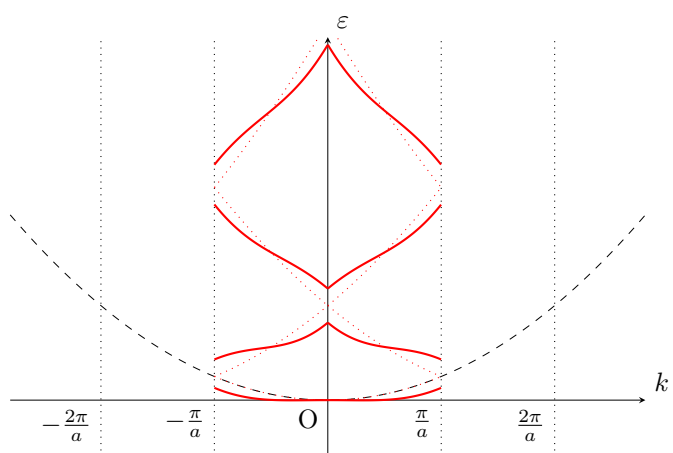


図0.6 弱い周期ポテンシャル中のの分散関係

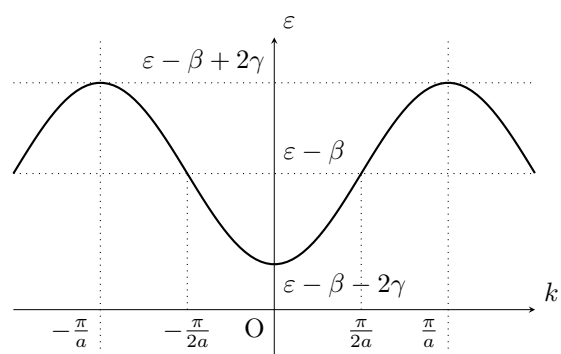


図0.7  $\varepsilon(k)$ の概略図

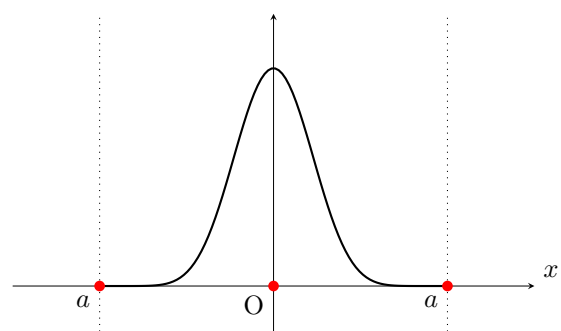


図0.8  $\varphi(x)$ の概略図

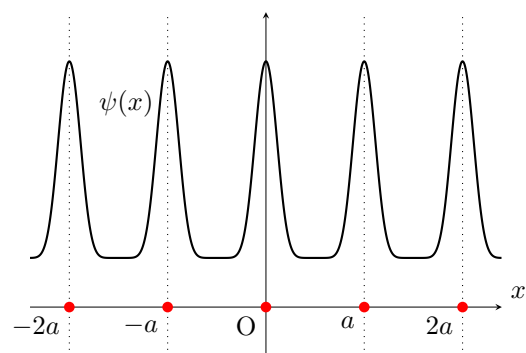


図0.9  $k = 0$ のときの $\psi(x)$ の概略図

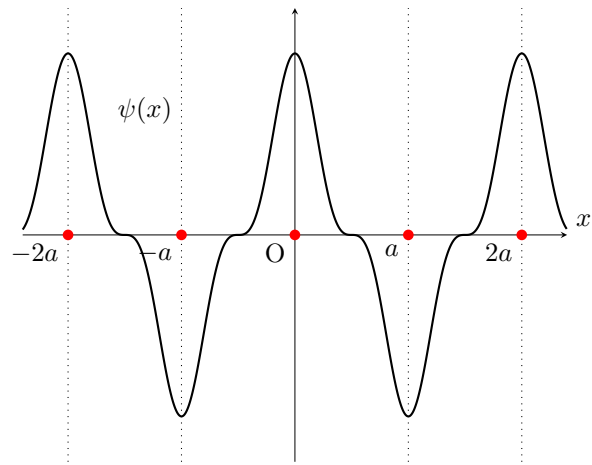


図0.10  $k = \pi/a$ のときの $\psi(x)$ の概略図

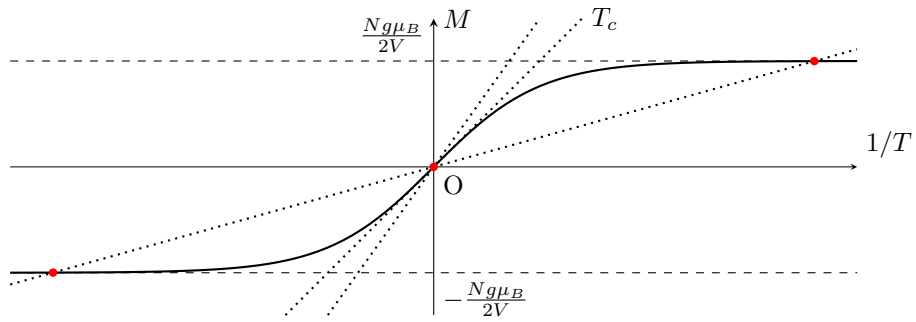


図0.11  $M$ と $1/T$ の関係

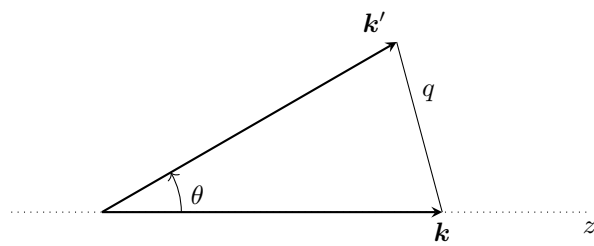


図0.12  $q^2 = |\mathbf{k}' - \mathbf{k}|^2$ の関係

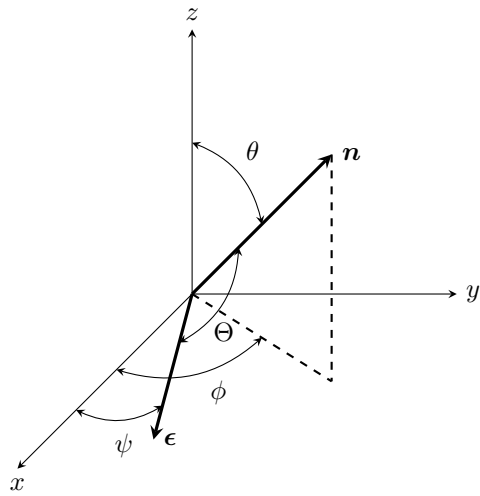


図0.13  $n$ と $\epsilon$ の取り方

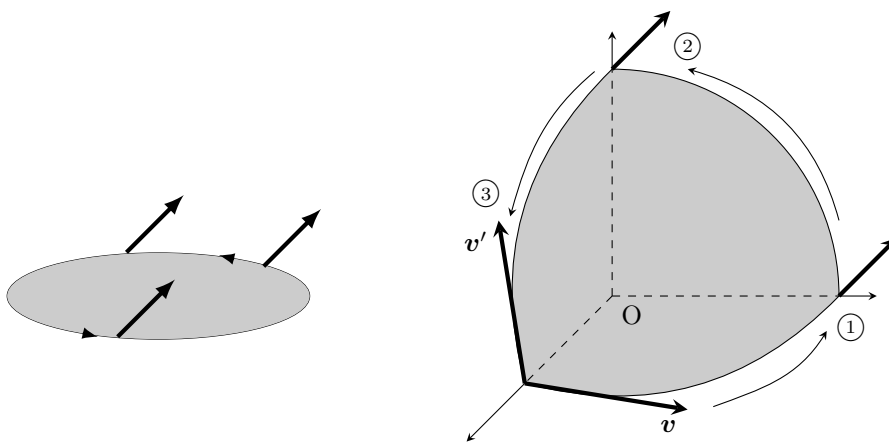


図0.14 曲がった面の例

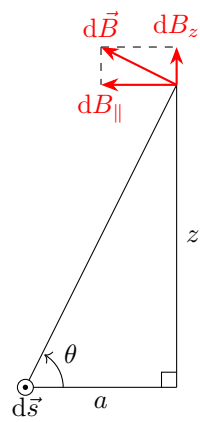


図0.15  $\vec{r} - \vec{s}$ と $d\vec{B}$ の作る断面

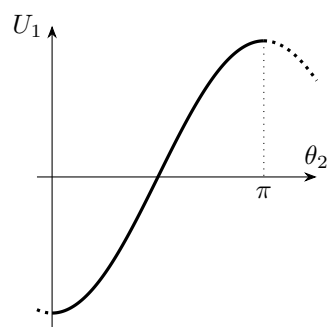


図0.16  $\theta_1 = 0$  のとき

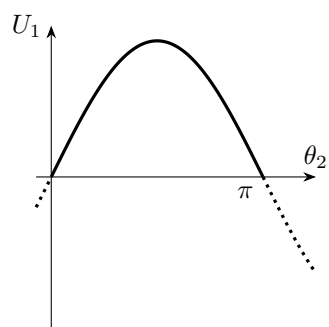


図0.17  $\theta_1 = \pi/2$  のとき

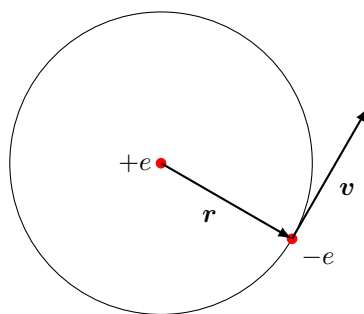


図0.18 古典論におけるラザフォード原子模型

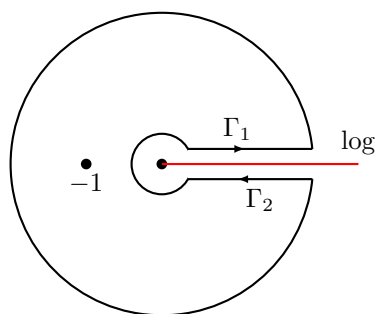


図0.19 積分路

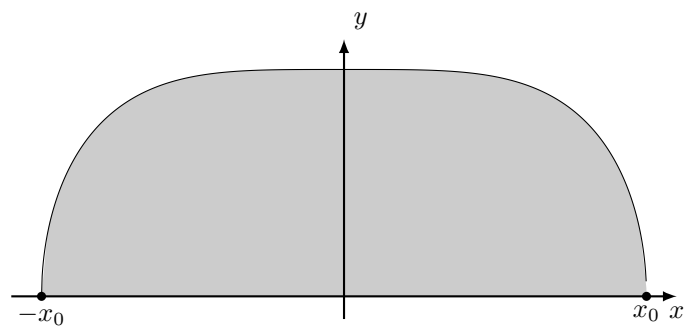


図0.20 積分の値

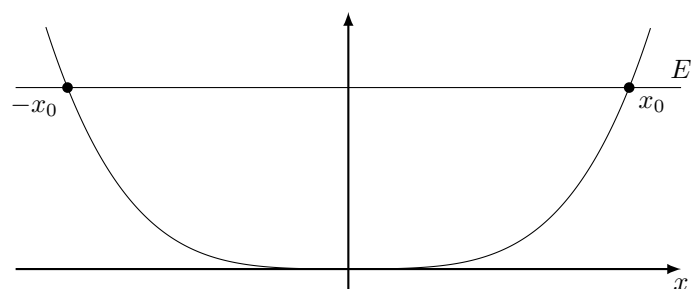


図0.21 ポテンシャル

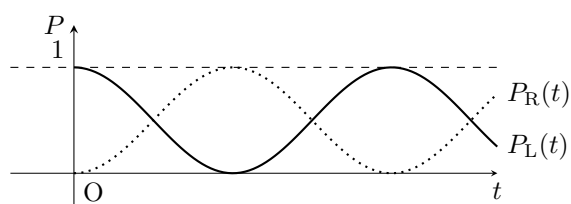


図0.22  $P_L$ と $P_R$ の時間変化

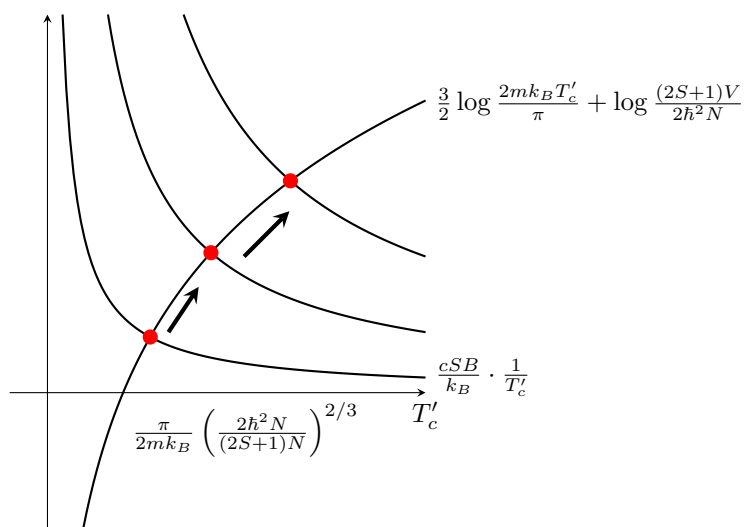


図0.23 セルフコンシステントに転移温度 $T'_c$ を求める方法

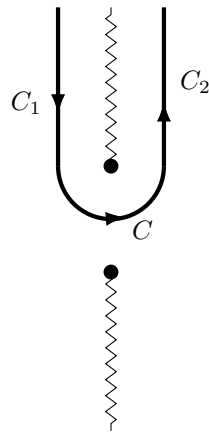


図0.24 変更後の経路

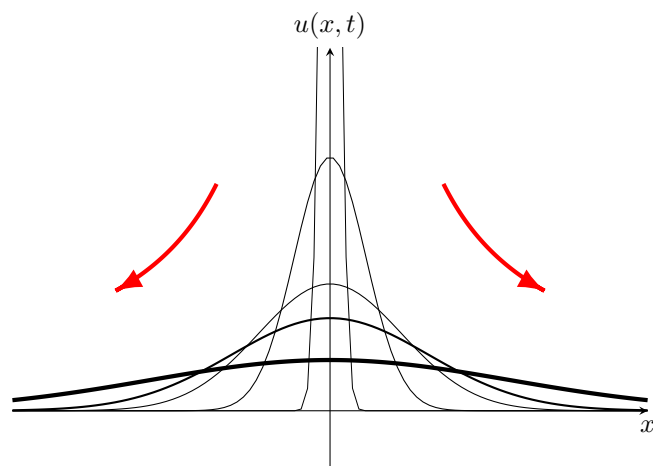


図0.25  $u(x, t)$ の様子

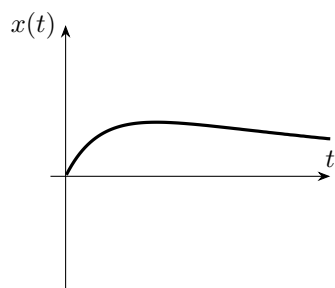


図0.26  $\beta > \omega$ のとき

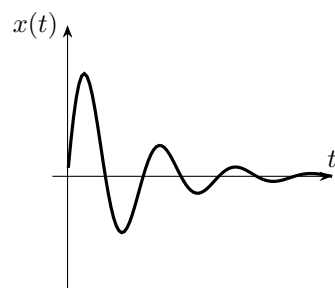


図0.27  $\beta < \omega$ のとき



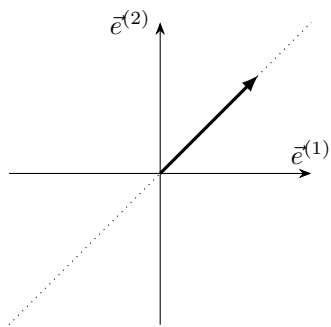


図0.28  $\delta = 0$  のとき

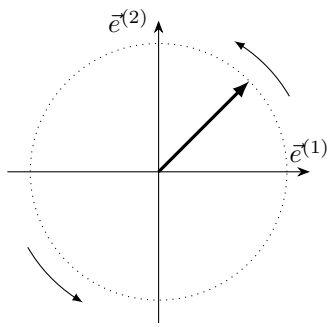


図0.29  $\delta = \pi/2$  のとき

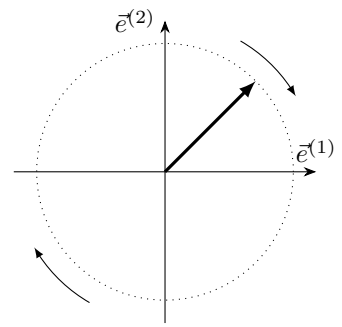


図0.30  $\delta = -\pi/2$  のとき

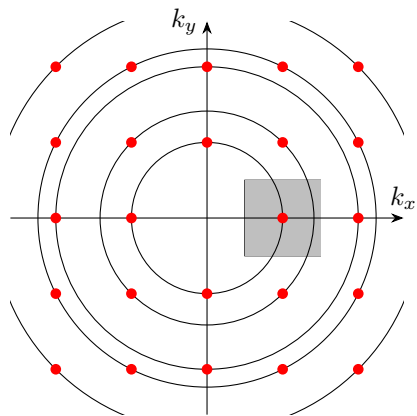


図0.31  $(k_x, k_y)$  の取りうる値

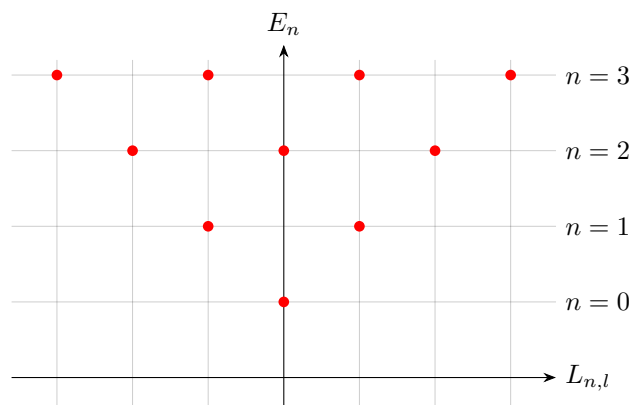


図0.32 設問8の答え

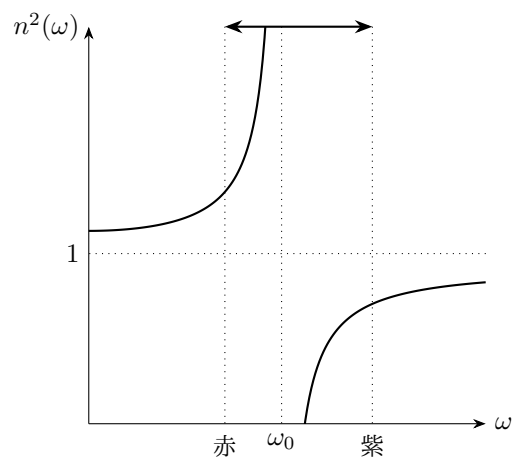


図0.33 物質Fの分散曲線

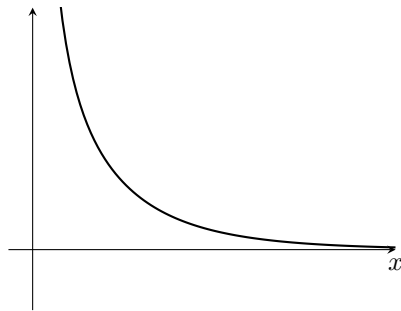


図0.34  $\langle x|\psi\rangle$ の概形

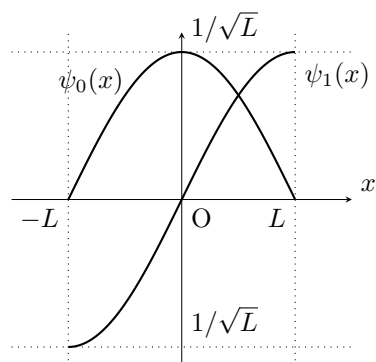


図0.35  $\psi_0(x)$ と $\psi_1(x)$ の概形

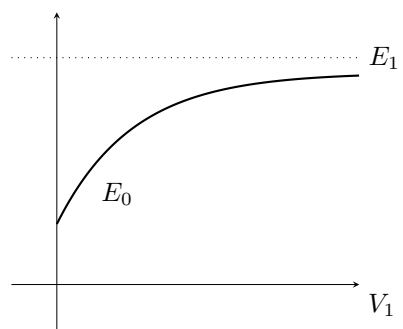


図0.36  $E_0$  と  $E_1$